

今年、賀川豊彦献身100年、子どもの権利条約国連採択20周年の年です。初心にもどり学習するいい機会、紙面でもご紹介します。

1. 賀川豊彦とユニセフ

賀川豊彦は、子どもの権利を守り教育を促進する活動に努めたことが認められ、1999年12月、国連が採択した「子どもの権利条約」のもと、「子どもの最善の利益を守るリーダー」として、世界の52人の一人に選ばれました。これは『世界子供白書2000』に紹介されています。

隣人愛、生協の精神を説いた賀川豊彦は平和の使徒でもあり続けた人です。1924年子どもの権利に関するジュネーブ宣言が採択される3カ月前、彼が東京深川猿江裏児童保護講話

会で提唱した「6つの子どもの権利」には、保護だけでなく参加（意見表明）の権利も含まれ、より先駆

的な内容であることに驚かされます。ジュネーブ宣言は、第二次世界大戦後の子どもの権利宣言および国連子どもの権利条約の先駆けとなったものです。ユニセフの活動指針は国連子どもの権利条約であり、その根幹の精

神で、賀川豊彦とユニセフは密接に結びついています。

今年、記念事業が様々なところで展開されています。

